

琉球大学学術リポジトリ

米国管理下の南西諸島状況雑件 沖縄関係重要事項
半月報(1)

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-04 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43507

★
11
回
(
昭
41
2
16日
5
28日
)

タイプ指示	発信用	執務用	計
主 信			2
付	10子		
原			

発送日 昭和41年3月25日
 発信 タイプ 校査

文書課長 (印) 公 信 案 (分類)

公 信 番号 米北 第 390 号 公 信 日付 昭和41年3月25日

大 原 政務次官 事務次官 外務審議官 官房長

主 管 北米局長 参事官 北米課長

主任 後藤 電話番号 444

起案 昭和41年3月12日

受信者 米北 武内大使 発信者 姓名大臣

写送付先 (希望発送日) 月 日

件 名 神繩関係重要事項半報 送付 (第11回)

25 85

GA-2 外務省 回覧番号

米北才390号

昭和41年3月25日

在米大使殿

外務大臣

神繩関係重要事項半報、送付
 本件半報才11回分(昭和41年2月
 16~28日)と下記通り、別送送付す。

記

1. 主席候補は松岡氏決定
2. 中央巡裁、那覇市職員免職処分効力停止

GA-4

外務省

3. 立法院選舉選舉當選無效請願事件

判決

4. 才5回神繩連全國代表者會議

5. 立法院心各派交涉會

付屬物添付

第11回 沖縄関係重要事項半報

(昭和41年2月16~28日)

1. 主席候補に松岡氏決定

沖縄民主党は2月7日以来8回にわたって
役員総会をこらして次期主席の人事を協議し
たが、2月16日の総会に松岡現主席と候補者に
決定した。役員団は決定後、松岡総裁と会
総会の決定事項を説明し、同意の了承を得た。
同党は、立法院への選挙を早めに行うため、
翌17日長嶺議長に選挙手続を迅速委を検討
する旨を申し入れ、さうして野党各派にも協力を
要請した。一方、野党各派は院外
民主団体は、直接公選の実理のため、立法院への
選挙は拒否すべきとし、阻止態勢を固めた。

2. 与野党の対立は避けられないものとみられて
いる。

決定後、梁江民主党幹事長は、記者会見
で「総裁と主席は一体化する」という党の確認
事項に従って松岡総裁を推すことになった。安保
改訂は、沖縄の政治の運命を決める重要な
意義をもつものがあるため、党内に施政権返還
と安保改訂に関する特別研究会を設置する」と
説明。一方松岡総裁は「今後はこれに
指摘された自分の弱点を反省して行政・党務を
運営して行きたい」と述べた。

→ 中央巡裁、那覇市職員免職処分^{の効力を}
停止

那覇市職員^{の解雇問題}をめぐって、那覇市
職員組合委員長と市長の西銘市長と相争って
2月21日、中央巡裁に免職処分^{の効力を}停止を
求める復讐^の申請、同時に免職処分取り消し
の訴訟を提起したが、22日、中央巡裁は、
「判決が確定するまで免職処分の効力を停止
する」との決定を下した。これに組合側は、
解雇争の身分を一時回復した上で、訴訟争^を
するに決めた。

3. 立法院議員選挙当選無効請求事件判決

去年11月の第7回立法院議員選挙で、議長
兼次郎^氏 ~~氏~~ 人民党 社大党 系 革新系 候補
者4名が中央選挙管理委員会により、米軍から退
島命令の出た上に人物をかくまい、偽証を行
ったことに付し重罪の判決のあったこと、重
罪に処せられたことを理由に^に失格を言いわたさ
れた。そのうち米29区から立候補した社大党
の友利隆彦氏は去る62年の選挙で、有権者
2人にある特定の候補者に投票するよう強要した
疑いで50以上の罰金刑に処せられたことがあり、
その法定刑が重罪に該当するため重罪に処せられ
たものとして失格を宣告され、最高票を得ながら
失格となり、次点の砂川旨誠氏(民主党) ^が
当選し^た。 ~~された~~。しかし友利氏は62年の判決文 ^中に

5 立法院各派交渉会

立法院は2月26日、与野党各派交渉会を開

き当面の主要問題の取扱、について意見を調

整した。民主党は主席選挙の優先を主張

これに対し野党側は、^{本土閣会における}沖縄委の設置推進が

当面の主要課題として従来の基本態度を堅

持し、論議は平行線の手で終始したと傳之

られた。